～２０１９年度石教研理科（小）部会　『指導案形式』基本形～

日　時　2019年　　月　　日

児　童　○○立○○小学校　年　組　名

　指導者

１．単元名「　　　　　　　　　　　　　」

２．単元について

*※授業者の学級の実体を記載*

・

**理科学習における児童の実態**

**単元の総括目標**

***※各資料を参考に授業者で考えて記載***

【自然事象への関心・意欲・態度】

○

【科学的な思考・表現】　　　　　　　　　　※***各資料を参考に授業者で考えて記載***

○

【観察・実験の技能】

○

【自然事象についての知識・理解】

○

**単元の評価規準**

・

・

・

目的意識をもった実験・観察を通して、自ら問題解決し、自己の成長を実感できる子どもの育成

（１）理科の見方や考え方を働かせた予想の立て方

　　・

（２）振り返りの日常化

　　・

（３）教材・教具の工夫・開発

　　 ・

**本単元で育てたい能力**

**研究主題とかかわる大切にしたい考え方**

※左の手立てをとることで育てたい能力を記載してください。

例　～な力、～な技能　など

※この単元の学習で取り組ませる研究とかかわる手立てを記載してください。

３．レディネステストの結果と考察

*※レディネスについては、別紙として後載でも良いです。*

４．単元構造図

　※*昨年度のものを参考に、簡潔に記載します。*

５．単元の指導計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習の内容・活動 | | | | | 教師のはたらきかけ |
| 第  一次○○○○ | １／○○ | | | | | ・  ※課題は太字の四角で、まとめは二重囲みの四角で表記します。 |
|  | 課題 | |  | |
| 予想・実験（観察）・結果・振り返りなど | | | | |
|  | まとめ | |  | |
|  | | | | |
| ２／○○**（本時）** | | | | |  |
|  | | 課題 | |  |
| 予想・実験（観察）・結果・振り返りなど | | | | |
|  | まとめ | |  | |
|  | | | | |
|  | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習の内容・活動 | | | | | 教師のはたらきかけ |
| 第  二次○○○○ | ○／○○ | | | | | ・ |
|  | 課題 | |  | |
| 予想・実験（観察）・結果・振り返りなど | | | | |
|  | まとめ | |  | |
|  | | | | |
| ○／○○ | | | | |  |
|  | | 課題 | |  |
| 予想・実験（観察）・結果・振り返りなど | | | | |
|  | まとめ | |  | |
|  | | | | |
|  | | | | |

６．本時の目標

◎自然事象への関心・意欲・態度

※本時は、全ての観点を明記する必要はありません。当てはまるものの目標を設定して下さい。

◎科学的な思考・表現

◎観察・実験の技能

◎自然事象についての知識・理解

※理科の場合、１単位時間（課題からまとめまで）が２時間または３時間ぐらいになることもあり得ます。よって、本時ではなく、本単位時間の展開としています。

７．本単位時間の展開（　〇，〇／〇）

※一単位時間が２時間以上に分割されることも自然にあると考えられます。分割される場合、本時の最初に復習を位置づけます。一単位時間がどこで区切られ、２時間あるいは３時間以上になるかは、児童の実態をふまえた授業者判断です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 一単位時間 | 児童の学習 | 教師の留意点 |
| １課題設定  ２予想  ３実験・観察 | 課題  ※課題は太字の四角で、まとめは二重囲みの四角で表記します。  ※「課題」「まとめ」は指導計画に沿うようにします。 | * 特に重要な教師の働きかけについては、児童の学習の欄に、記述します。細かな指示や留意点のみ、こちらに記述します。 |
| 【本時】  ３実験  ４考察  ５まとめ  ６振り返り | 復習：（例）課題から実験結果の見通しまで  ※一単位時間が２時間以上に分割されることも自然にあると考えられます。分割される場合、本時の最初に復習を位置づけます。一単位時間がどこで区切られ、２時間あるいは３時間以上になるかは、児童の実態をふまえた授業者判断です。  まとめ |  |

８．板書計画

|  |
| --- |
| ※写真でも構いません。 |

９．資料

※教材教具の工夫、開発などで全体に紹介できることがあれば記載してください。別紙として後載でもよいです。

１０．授業を振り返って（※中心サークルにはこの項目はありません。）

（１）授業者から

（２）話し合いから

　　　　　【討議の柱】

①目的意識をもった実験・観察について

　・予想の立て方と生かし方

　　　　　 ②その他

　　　　　　 ・教材教具の工夫

　　　　　　 ・振り返り　　　など

※授業者の意図として、本時に振り返りを位置づけている場合のみです。授業者の指導計画上、本時に振り返りが位置づかない場合もあり得ます。